

食品化学科3年生が イベントで学校PR

秩父農工で31日

秩父市大野原の県立秩父農工科学高校で31日、「食品化学科まつり2025」が開かれる。同科3年生34人が、地域内外の中学生を対象に、模擬店や手作り食品の販売、交流会などを行い、学校の魅力を伝える。

同イベントは、高校受験を控えた中学生に、同校食品化学科の学習内容と成果を知ってもらおうと、一般向けに初めて開かれる。総合的な食品

のスペシャリストを志し、生産から販売までの流れを体験的に学んできた同科3年生が、昨年11月から準備を進め



県立秩父農工科学高校の食品化学科の生徒(同校提供)

ている。

当日は、校内の加工室や製麺室などで生徒が調理したパンやソバ、ローストチキンなどの模擬店が並ぶほか、実習で製造したジャムやみその販売、学習成果の展示、生徒が中学生に受験のアドバイスをする交流会など、多彩な催しが行われる。

会場は同校食品化学科実習棟2階で、午前11時から午後2時まで実施。対象は中学生とその保護者で、事前申し込みは不要。問い合わせは、同校(☎0494・22・3017)へ。(中野春夫)